心と笑顔の交流を生む Interview サービス

故人の縁（ゆかり）の品を丁重に供養し 思い出を残し再出発の手助けを

株式会社 羽松院

〒463-0097
愛知県名古屋市守山区川村町 87
TEL 052-726-5898 / FAX 052-726-5899
URL http://www.hasyouin.co.jp

Company data

代表取締役
羽佐田 武史

2011 年 8 月に、遺品供養、遺品整理、仏壇回収、出張整理を展開する（株）羽松院を設立し、独立を果たす。これまでのキャリアで培った人脈・ネットワークを活かして遺品供養業務に特化。故人が残した遺品を供養し、遺族の気持ちの整理を手助けしている。

内藤　御社では、故人が残した遺品を供養する事業を行っていると伺いました。

羽佐田　はい。故人様とお別れした際に、一緒に納棺できなかった縁の品というものはたくさんあると思います。それを遺品整理業者に頼んで処分した後、「ただ処分するだけで、故人は偲ばれるだろうか」と後悔される方は意外におられるんです。そこで弊社では、ご遺族などからお預かりした遺品をただ処分するのではなく、真心を込めて丁重に供養し、ご遺族の方々の気持ちの整理を手助けさせて頂くという事業を行っています。供養を終えた品は法律に基づいてきちんと処分していますので、ご安心ください。

内藤　具体的には、どのような品が遺品供養されているのでしょうか？

羽佐田　入れ歯、メガネなどが多く、他にも棺に入りきらなかった、アルバム、ぬいぐるみ、日記帳、愛用の文房具など故人様の思い出が詰まった品であれば、何でも構いません。その際には、供養箱という専用の箱を用意し、その中に遺品を入れて頂き、弊社祭壇にて僧籍を持つ弊社スタッフが供養を致します。もちろんご参列も可能で、終了後には供養証を発行していますよ。

また、葬儀社や不動産業者、市役所など、引き取り手がおらず、遺品の処分で困っている団体に声をかけ、処分をさせて頂いている他、一般の方からのご依頼には、電話やメールで対応しています。

内藤　今後さらにニーズの増すお仕事だと思うのですが、仕事をする上で大切にしていることはありますか？

羽佐田　弊社では遺品整理業も手がけていますが、その作業においても“供養”の気持ちで取り組んでいるということです。故人様の残した家財道具などの整理の際にも、必ず一度読経した後に、作業を開始するようにしています。また、どんなお部屋もできる限りのことをして元のお部屋に近づけます。その部屋を見た大家様やご遺族の方から「ここまできれいにして頂いてありがとう」と、感謝のお言葉を頂いた時に、私はこの仕事のやりがいを感じます。

内藤　大家様やご遺族の方だけでなく、亡くなった方も喜んでくださるサービスだと感じました。では最後に、今後の展望をお聞かせください。

羽佐田　まだまだ遺品供養という仕事の知名度が低い分、より多くの人にこの仕事を知って頂ければと思います。そして様々な業者が参入し、業界自体が活気づけば良いですね。また、現在は愛知、岐阜、三重の 3 県に絞って営業をしていますが、今後はより多くのニーズに応えるために全国展開を視野に入れています。

Guest Comment
ギャオス内藤（スポーツキャスター）

「遺品供養」というサービスを初めて知ると同時に、多くの方に心の安らぎを与える大事な仕事だと気付かされました。御社の活動のおかげで、偲ばれる方もいらっしゃったと思います。だからこそ 1 人でも多くの方に、遺品供養という仕事が広まればいいですね。

(c)2012 IIM Co.,All Rights Reserved